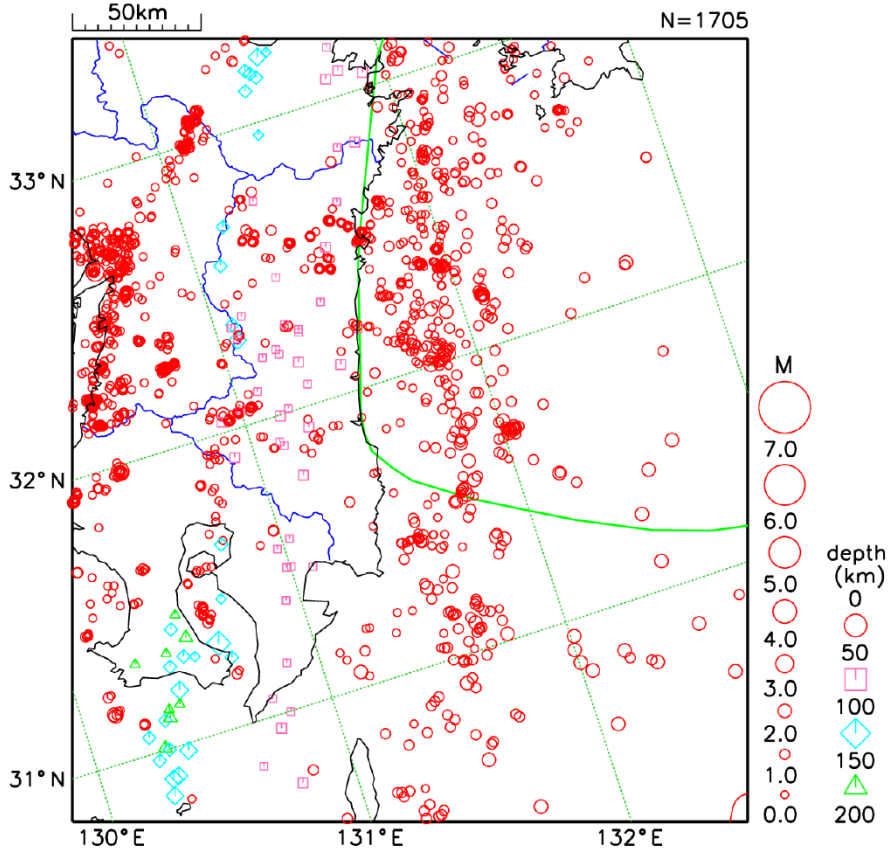


宮崎県の地震活動概況 (2026 年 5 月)

令和 8 年 6 月 4 日
宮崎地方気象台

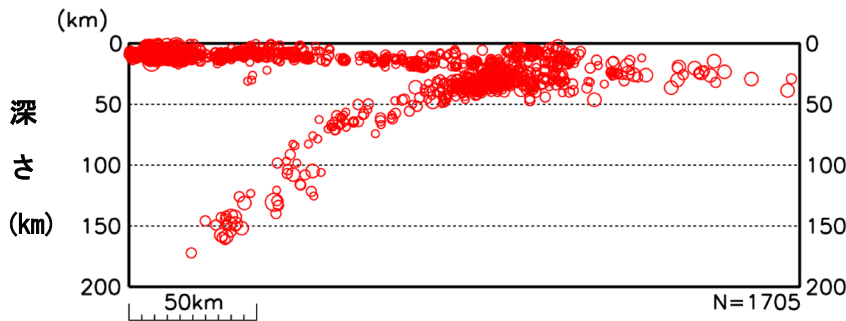
【地震活動の概要】

5月に宮崎県内の震度観測点で震度1以上を観測した地震は1回(4月は2回)でした。



震央分布図 (2026 年 5 月 1 日~31 日、M0.0 以上、深さ 200 km以浅)

地震の規模(マグニチュードM)は記号の大きさで、震源の深さを記号と色で示しています。
緑色の線は南海トラフ巨大地震の想定震源域を示しています。
宮崎県で震度1以上を観測した地震に吹き出しをつけています。
なお、2日に発生した和歌山県南部の地震は範囲外です。



断面図 (震央分布図の投影、深さ 200 km以浅)

国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを使用しています。また、2016年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点(河原、熊野座)、2022年能登半島における合同地震観測グループによるオンライン臨時観測点(よしが浦温泉、飯田小学校)、2025年トカラ列島近海における合同地震観測グループによるオンライン臨時観測点(平島、小宝島)、EarthScope Consortiumの観測点(台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東)のデータを用いて作成している。

2日 和歌山県南部を震源とする地震（情報発表に用いた震央地名は「奈良県」） （1頁震央分布図範囲外）

2日 18時28分に発生したM5.8の地震（深さ65km）により、三重県の尾鷲市、熊野市、奈良県の御所市、宇陀市、和歌山県の御坊市、田辺市、新宮市など合計16の市町村で震度4を観測したほか、九州地方、関東地方、東海地方、甲信越地方、北陸地方、近畿地方、中国地方、四国地方で震度3～1を観測しました。県内では、高千穂町、美郷町、椎葉村で震度1を観測しました（図1）。

今回の地震の震源付近（図3領域b）では、1999年8月21日にM5.6の地震（深さ66km、最大震度5弱）が発生し、県内では高千穂町で震度1を観測しました（図2～4）。

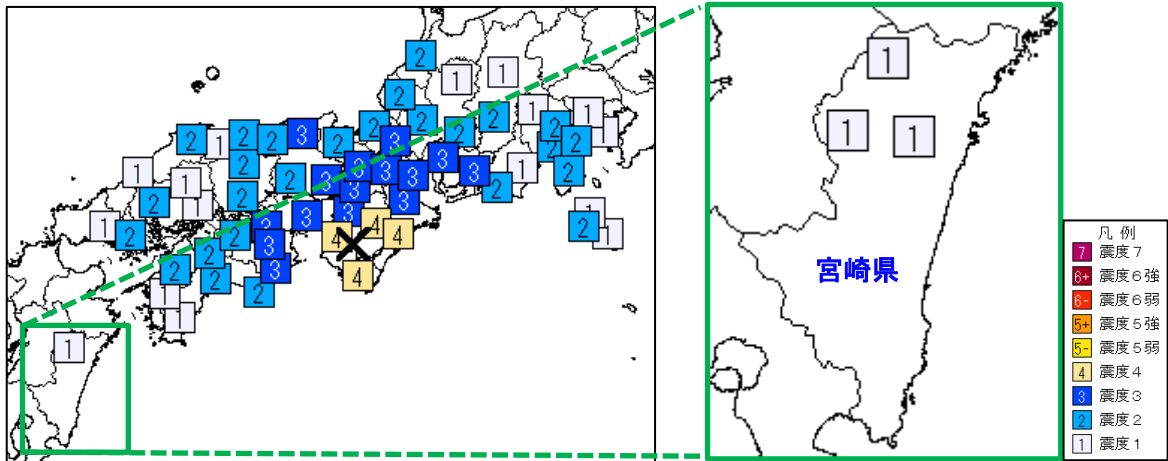


図1 震度分布図（左図：地域別、右図：観測点別、×：震央）

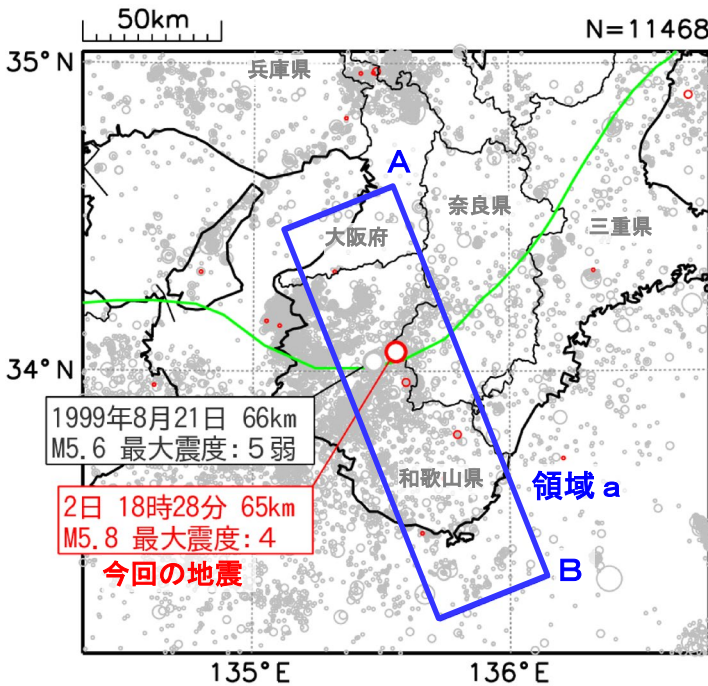


図2 震央分布図

（1997年10月1日～2026年5月31日、
深さ0～100km、 $M \geq 2.0$ ）

※2026年5月の地震を赤色で表示

緑色の線は南海トラフ巨大地震の想定震源域を示しています。

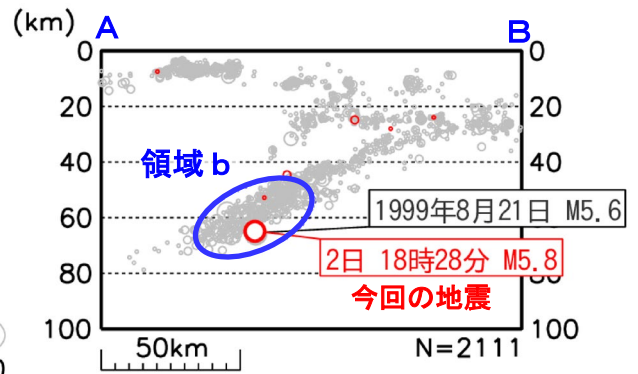


図3 図2領域a内の断面図（A－B投影）

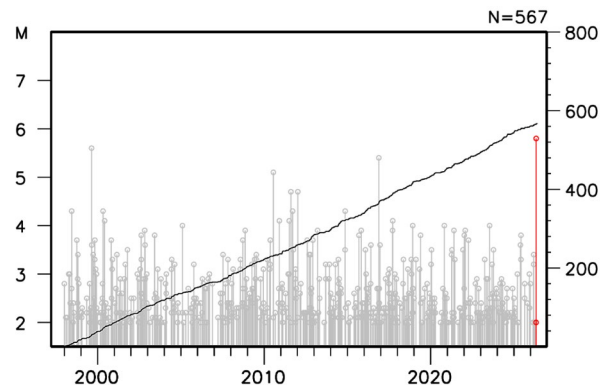


図4 図3領域b内の地震活動経過図
および回数積算図

宮崎県内で震度 1 以上を観測した地震の表 (5 月 1 日 ~ 31 日)

震源時 (年月日時分) 各地の震度	震央地名	緯度	経度	深さ	マグニチュード
2026 年 05 月 02 日 18 時 28 分 震度 1 : 椎葉村総合運動公園*, 高千穂町三田井, 宮崎美郷町田代*	和歌山県南部	34° 03.7' N	135° 33.4' E	65km	M5.8

使用した震源要素等は暫定値であり、後日修正することがあります。

*は地方公共団体または、国立研究開発法人防災科学技術研究所の観測点です。

津波が来るぞ すぐ避難！ 「津波フラッグ」は避難の合図

「津波フラッグ」は、津波警報等[※]が発表されたことをお知らせする旗です。

津波警報等は、テレビやラジオ、携帯電話、サイレン、鐘等、様々な手段で伝達されますが、令和2年6月から海水浴場等で「津波フラッグ」による視覚的伝達が行われています。

「津波フラッグ」を用いることで、聴覚に障害をお持ちの方や、波音や風で音が聞き取りにくい遊泳中の方などにも津波警報等の発表をお知らせできます。**海水浴場や海岸付近で「津波フラッグ」を見かけたら、速やかに避難を開始してください。**

※ここでは大津波警報、津波警報、津波注意報を津波警報等としています。

津波フラッグは避難の合図

いつ使われる？	どこで使われる？	見かけたら？
<p style="text-align: center;">津波警報などの発表時</p> <p style="text-align: center;">※大津波警報・津波警報・津波注意報</p>	<p style="text-align: center;">海水浴場など</p> <p style="text-align: center;">波音や風で音が聞き取りづらいため、旗で視覚的に伝達</p>	<p style="text-align: center;">高いところへにげて！</p> <p style="text-align: center;">すぐに海から離れ、高台や津波避難タワーなどへ避難を</p>

監修：気象庁 制作：Yahoo!ニュース

※Yahoo!ニュース制作図解・商用利用不可・図解を分割編集しての使用はできません。
 津波フラッグ：長方形を四分分割した、赤と白の格子模様の旗です。



津波は繰り返し襲ってきますので、津波警報等が解除されるまで安全な場所から離れないでください。

海岸の避難施設で津波フラッグを振っているイメージ
 (公益財団法人 日本ライフセービング協会提供)

※旗を建物に掲げるなど他の手法でお知らせすることがあります。

詳細は気象庁 HP でご覧になれます。

https://www.jma.go.jp/jma/kishou/known/jishin/tsunami_bosai/tsunami_bosai_p2.html